

ラックスキット A3000 モノラル・パワー・アンプ・キット

(1) 8045G の時

■ラックスキット A3000 の規格

(1) 出力管が 8045G の時

使用真空管; 12AX7×1, 12AU7×

1, 6240G×2, 8045G×2

実効出力; 60W

全調波歪み率;

0.2%以下(60W 1kHz)

0.5%以下(")

周波数特性; 10Hz~40kHz

(-1dB 以内 1W)

入力感度; 約 80kΩ

入力インピーダンス; 800mV

ダンピング・ファクター; 16

(8Ω 1kHz)

残留雑音; 0.5mV 以下

消費電力; 150W (定格時 220W)

外形寸法; 幅 370, 奥行 240, 高さ

170mm

重量; 15.2kg

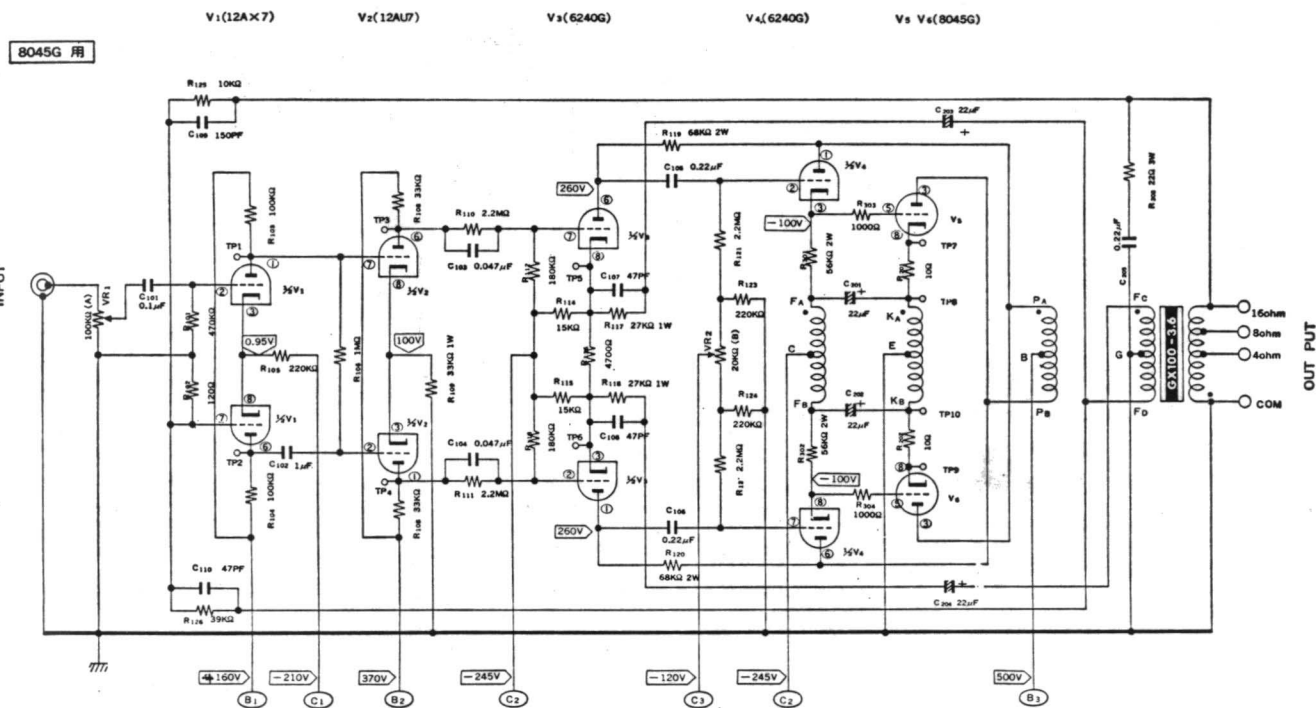
定価; 79,000 円 (真空管別売)

A3000 用チューブ・キット

TU-3000 定価; 9,900 円

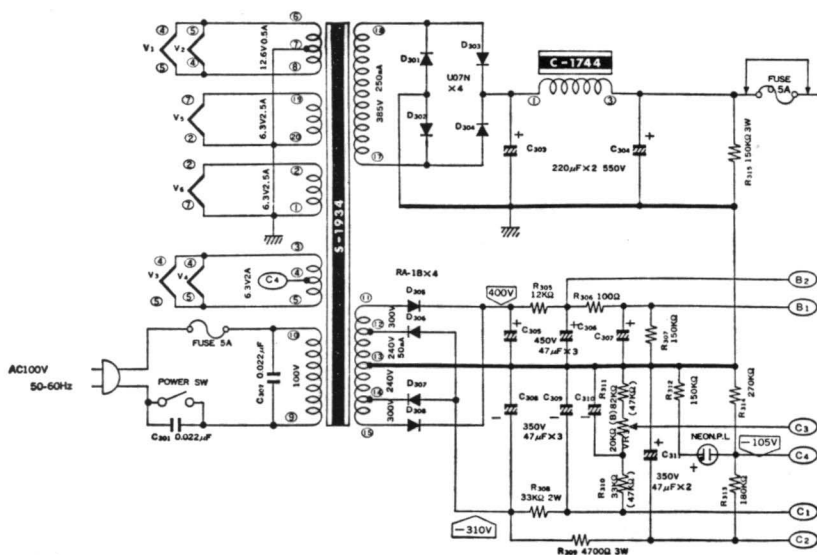


KT-88 の時



↑ 8045G pp の時のアンプの回路

↓ 共通の電源回路

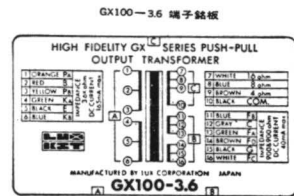


- VOLUME
VR1.....LEVEL CONTROL
VR2.....DC.BALANCE CONTROL
VR3.....BIAS CONTROL
- C.R
R101-R126, C101-C110.....CB-A3000M
R201-R203, C201-C205.....CB-A3000C
R301-R315, C301-C311.....OTHER CIRCUIT
- 電源回路の抵抗で()内の値はKT-88使用のときの値です。
• 指定なき抵抗のW数は3/4Wです。
• 電圧値はすべて無負荷時、対アース間の電圧です。

• テストポイントの電圧値

TP1	95V
TP2	95V
TP3	270V
TP4	270V
TP5	-190V
TP6	-190V

8045Gの場合
TP7-TP8 } 0.75V(75mA)
TP9-TP10 }
KT-88の場合
TP7-TP8 } 0.50V(50mA)
TP9-TP10 }



(2) KT-88 の時

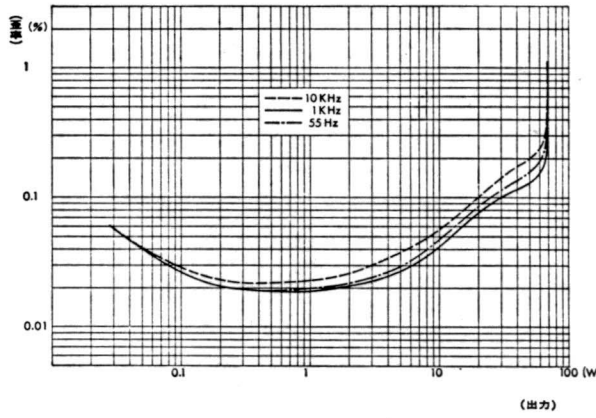
(2) 出力管が KT-88 (ビーム管接続) の時

使用真空管; 12AX7×1, 12AU7×1, 6240G×2, KT-88×2
ダンピング・ファクター; 14
(8Ω 1kHz)

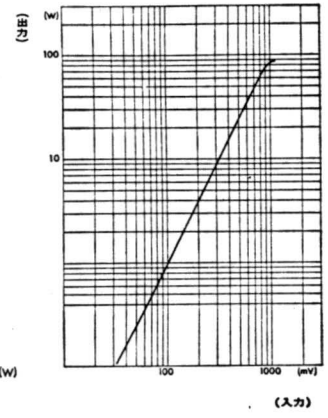
定価; 79,000 円 (真空管別)

以上の他は 8045G 使用時と同じ。
タマはバラで買ってください。

雑音+高周波歪率特性

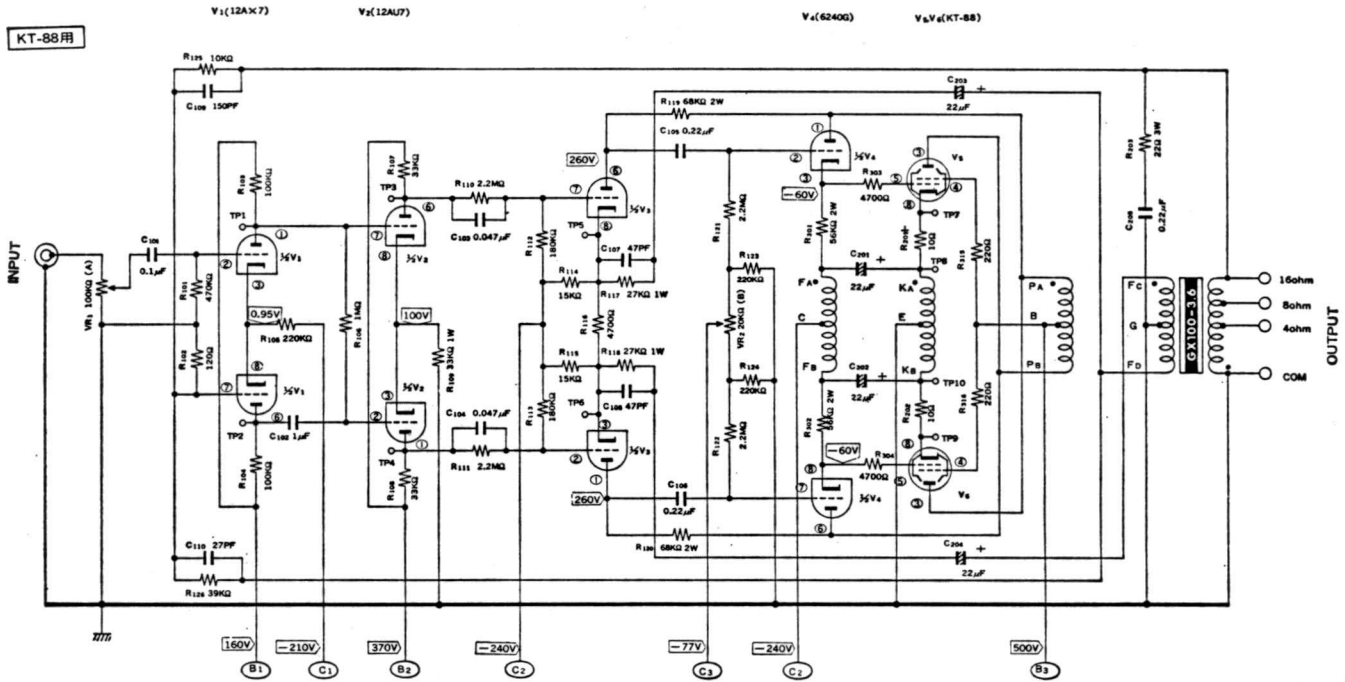


入出力特性



⇩ KT-88 pp の時のアンプの回路

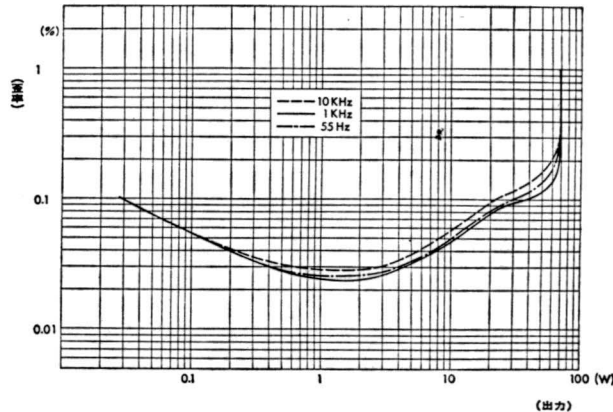
⇧ KT-88 pp の時の出力対歪み特性と入・出力特性



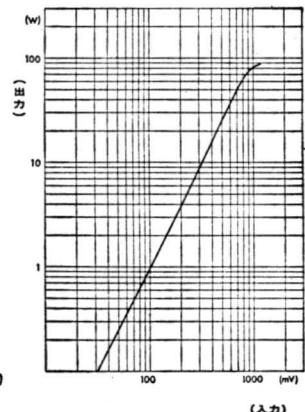
(電源回路は左ページの 8045G pp と全く同じ)

A3000 は、60W 出力のモノラル・パワー・アンプ・キットで、真空管バラ売りまたは別売であるため、ラックス新開発三極パワー管の 8045G と、おなじみの KT-88 どちらでも作れるよう多角的に考えられています。回路そのものも、出力段に 2 本の抵抗が加わり、2 本の数値が変わるだけで、周波数特性等は同じであるし、入・出力特性も見られる通り殆んど同じです。後は DF の違いが少して、音の好みによりどちらかに決めれば良いわけです。

雑音+高周波歪率特性



入出力特性



⇧ 8045G pp の時の出力対歪み特性と入・出力特性